

発達障がいを知る

～本質を理解して一人ひとりに適切な支援を～

「発達障がい」という言葉がよく聞かれるようになりました。発達障がいの分類は多岐に渡り、障がいの種類や個人によって表れ方がさまざまで、なおかつ医学の進歩とともに概念がとらえなおされた結果、拡大される傾向にあるため、イメージがつかみにくくなっています。保育所を始め、福祉の現場でも発達障がいの子どもや家族と接する機会が増えてきました。今回は、武庫川女子大学教授・石川道子さんのお話を中心に、発達障がいのとらえかた、発達障がいの原因とそれをとりまく背景、発達障がいのある子どもへの対応のしかたなどについてまとめてみました。

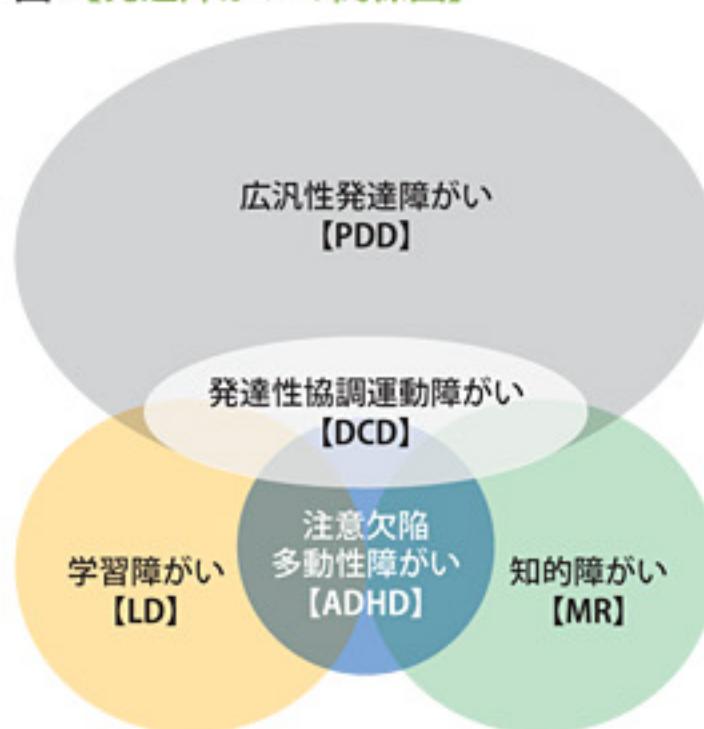
発達障がいとは？

発達期における、発達に関する障がいの総称

発達障がいは「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と、発達障害者支援法第二条に定義されています。

発達障がいに含まれる代表的な障がいとして挙げられるのは、自閉症スペクトラム(広汎性発達障がい)(PDD)、学習障がい(LD)、注意欠陥多動性障がい(ADHD)の3つで、このほかに軽度の知的障がい(MR)、発達性協調運動障がい(DCD)があります。発達障がいとは、これらの障がいの総称ですが(図1)、医学的な診断名ではありません。

図1【発達障がいの関係図】



出典：武庫川女子大学 石川道子の講演資料から引用

ひとりの子どもの発達経過を「継続的」にみて診断

障がい特性は、生れつきで、一生涯にわたります。しかし、本人をとりまく人や生活環境によっては、生活上の障がいが目立ちにくいため、発達障がいがあることに気づく時期は人により、かなり違いがあります。

発達障がいは、同じ子どもであっても、幼児期には落ち着きのないADHDの特徴が見られ、学齢期には学習が困難なLDの特徴が目立ってくるなど、年齢によって異なる障がいがみられることがあります。また、子どもにより、多様な発達の過程が予測されるため、長期的な観察により初めて診断が可能になる場合もあります。

このようなことから、従来は障がいの種類ごとに個別の研究が行なわれていましたが、現在ではひとりの人間として生涯に着目して、幼児期、学齢期、青年期、成人期と「縦断的」に発達経過をみて診断していくという考え方が主流となっています。

定型発達とは、使っている脳の部分が違う

一般的に健常といわれる子どもの発達を「定型発達」と呼ぶことにします。「定型発達」の子どもができることを発達障がいの子どもにはできないと否定的にとらえるのではなく、「定型発達」の子どもと発達障がいの子どもは、もともと違う性質を持ち、物事に対処する時に使っている脳の部分が違うと考えるようになってきています。

学習するという行為には、次の2つがあります。

- 自然に覚えられるもの
- 教えられて覚えるもの

「定型発達」の場合は、どちらも学習することができますが、発達障がいの場合は、このうち「自然に覚える」ことが難しく、このため、「定型発達」の子どもに合わせてつくられている学習プログラムや規則などが採用される学校生活では不利になる場合が多いのです。

それぞれの発達障がいの特徴は？

社会性やコミュニケーションが困難 自閉症スペクトラム (広汎性発達障がい)(PDD)

3歳までの発達期において、いくつかの面で以下のような兆候が同時に見受けられる場合に「自閉症スペクトラム」と診断されます。

【特徴】

- 社会性・コミュニケーションの障がい
他人とうまく社会的関係をつくることが苦手。他人の意図や感情が読み取りにくい。ことばの発達が遅れる。オウム返しをする。会話が一方的で自分の興味関心事だけを話してしまう
- こだわり行動(興味が偏り、決まりきったパターンに固執する)
- 過敏性・過鈍性などの感覚異常、手先や全身の不器用さなどを持つなど

読み・書き・計算などのいずれかが困難 学習障がい(LD)

知的な発達の遅れはありませんが、学習に必要な「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」といった能力のうち、特定のものの習得や使用が困難な状態をいいます。書いたり、話したり、数を数えたりする幼児期後半以降に発見されますが、症状が軽い場合は、小学生まで気づかれないこともあります。

【特徴】

- 知的には標準またはそれ以上
- 学習能力の著しい偏り(読み・書き・計算などの一部だけができない)
- 注意集中力や落ち着きがない。また、不器用な場合もある。

集中力に欠け、 多動で、注意することが困難 注意欠陥多動性障がい(ADHD)

「不注意」「多動」「衝動性」の3つが同時にあるいは一部がある状態をいいます。大事な仕事の予定を忘れたり、大切な書類を置き忘れたり、注意力や集中力が続かず、極端にそわそわとして落ち着きがないのが特徴。カッとなりやすく、衝動的に行動してしまうこともあります。

【特徴】

- 不注意:勉強や遊びに対して集中することができない。不注意による失敗が多い。課題や遊びで注意を持続できない。話しかけられても聞いていないように見える。宿題などをやり遂げられない。外からの刺激で注意がそれる。
- 多動:落ち着きがない、手足をそわそわ、もじもじと動かす。座っていなければならない時に席を離れる。余計に走り回ったり高い所に登ったりする。静かに遊んだりできない。
- 衝動性:思いついたら行動に移してしまう。質問が終わる前に答え始める。順番を待つことができないなど

これらの障がいのうちどれに該当するのか、実際には障がいの種類を明確

に診断することは難しいといわれています。障がいごとの特性が重なり合っている場合も少なくありません。また、年齢や環境により目立つ症状が違うため、診断された時期によって診断名が異なることもあります。

発達障がいの 要因とは?

脳機能の障がいに、 環境要因が絡んで生じる

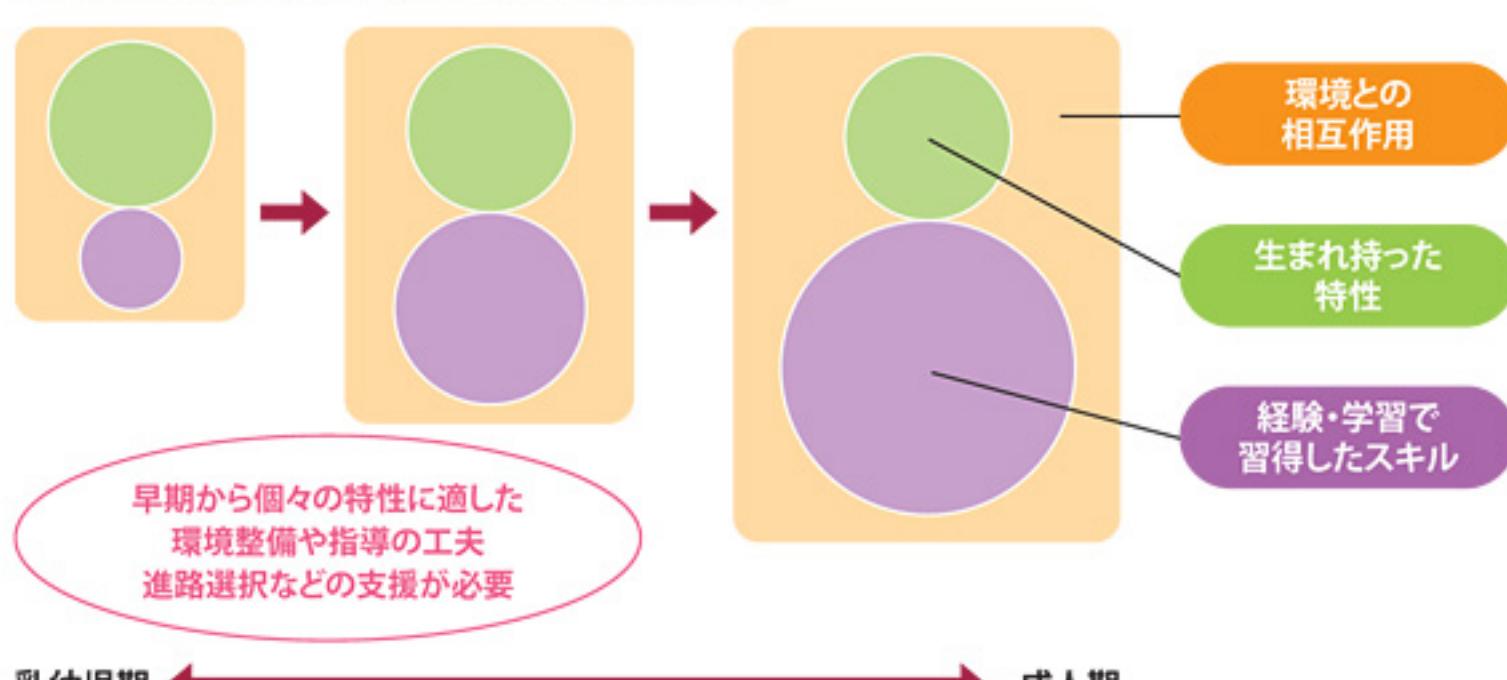
発達障がいの原因は、先天的なものか、それとも環境によるものかは明らかになっていません。現状では、脳機能障がいが原因で、複数の関連遺伝子の関与と胎児期の環境要因などが、複雑に絡み合って生じるものだと考えられています。

しかし、障がいの特性を持って生まれても、早い時期から周囲の理解が得られ、他人との信頼関係のなかで適切な支援や環境の調整が行われれば、十分に社会的に自立することも可能です。持って生まれた特性よりも、多くの経験、学習でスキルを習得できればいいのです。(図2)

発達障がい児に配慮のない 社会環境も影響

発達障がいのある子どもに配慮のない社会環境は、障がいをより深刻にします。

図2【人の心理・発達・行動に影響を与える要因】



武庫川女子大学(文学部心理・社会福祉学科)教授・石川道子さんは「現代は生活スタイルが多様で、これも発達障がいのある人にとって生きづらい社会」だと話します。

保育所や幼稚園においても、指導者が発達障がいの理解をしていなければ、発達障がいのある子どもが生きづらい環境を作り出してしまうことになります。

「例えば『枠にはめない自由な教育』をよしとして、『食事は本人が食べたい時に食べたい場所、食べたいスタイルで食べるのがいい』ということを提唱する人もいます。こうした自由度の高い環境を与えることは、定型発達の子どもには問題ありませんが、順応する力の少ない発達障がいの子どもには不安を与えてしまうことになります。環境が複雑になったときに、何をしていいのかわからなくなってしまうのです」

家庭では、親の考え方や接し方が影響します。

「問題なのは、子どもが歩いたり、言葉を話したりする一般的な目安となる年齢は○歳であるというような情報が常に入ってくるなかで、少しでもそれに遅れると過剰に気にして、子どもを責める親です。『“多様性”“個性”が大事』といわれながらも、やはり、よその子どもと比較してしまうようす」と石川さんは指摘します。

本人や家族が おかれた状況は?

不安や混乱のなかで 問題行動に出る子ども

定型発達の子どもが、教えなくても理解できることも、発達障がいがあれば理解できないのです。学校生活では、先生がひとり一人にていねいに教え、またひとり一人がわかったかを確認する余裕がなくなったといわれるなかで、発達障がいの子どもは、定型発達の子どもに比べて、学習や生活行動などで遅れをとることになります。

このような環境の中で、発達障がいのある子どもは、日々不安や混乱を抱え、そのうち問題行動が表われます。

【子どもの問題行動】

- 教室に入らない
- 教室から飛び出す、離席、たち歩き
- 学習する気持ちにならない、好きな科目だけする
- 友達がいない、もしくはトラブルになる
- 暴言を吐く、暴力的な言動
- かんしゃくを起す
- 不登校
- 掃除、片付けの生活習慣が身につかない
- 約束を守らない
- パニック
- 忘れ物が多い、ノートをとらないなど

わが子がかわいいと思えなくなる親

一方、発達障がいのある子どもをもつ親も苦しんでいます。発達障がいのある子どもは乳児期から育てにくいと感じる場合が多く、幼児期に入ると、走り回っていろんな行動を起します。そのことについて、すべて「親の教育が悪い」と責められるケースがみられます。

【親の悩み】

- 発達障がいがあると診断されてから「かわいい」と思えなくなる
- 何とか普通の子どもにしようと厳しくあたる

- 集団行動できず問題を起したときに、保育士や学校の先生から「愛情かけていますか」と責められる
- 虐待してしまう
- 発達障がいのある子どもを保育園等が受け入れてくれないなど

どう対応すればいい?

子どもたち一人ひとりに 応じたやり方で

保育士を始め、福祉援助職は発達障がいのある子どもに対応する機会や、対応に悩む場面が多いのではないかでしょうか。

発達障がいのある子どもへの対応は、まず、発達障がいのある子どもが、どのように周囲をとらえているかを知ることが重要です。また、子どもたちの認知特性に合わせた「わかりやすく伝える」方法(例:視覚的に伝える、物事を構造的にとらえるなど)、基本的なやり方を身につけておくことが求められます。

また「仮に問題行動を起していたとしても、問題行動に着目するのではなく、その場面での適応行動を教えることが大切」と石川さんは話します。

【発達障がいにおいて考慮すること】

- 課題の教示方法を工夫する
- コミュニケーションの特性を考慮する
- 能力の正確な測定
- 評価をわかりやすくする
- 個別指導のほうが効果的
- チーム体制を組むこと

発達障がいの子どもへの 対処法について、 いくつかの具体的なポイントを 石川さんに伺いました。

■ 視覚的にわかりやすくする

「絵や図を用いるのはもちろんですが、それだけでなく、注意を向けて欲し

い部分を実際に指さして『このところが、こうなっているでしょう』と具体的に伝えること。そうでなければ違う部分に注意がいってしまうことがあります」

■ ひとつが終わるまで次のことをいわない

「発達障がいの場合は、覚える容量が定型発達の子どもよりも少ないので、ひとつの作業が終わらぬうちに、次のことを指示すると混乱します。必要なことを順番に教えていくことは、教えて学ぶタイプの子どもに必要不可欠です」

■ 友達とのトラブルにも介入

「子ども同士、何かを取り合ったりトラブルになっている時は、迷わず介入します。発達障がいの子どもに対し『Aという行動をとるとA'になるよ。Bという行動をとるとB'になるよ。どちらを選ぶ?』と選択肢をつくって決めてもらうと理解しやすいでしょう。」

〈逆にやってはいけないのは〉

「『みんなと仲良くしなければいけませんよ』などと注意すること。子どもは傷つきます」

■ 頭ごなしに否定しない

「何か問題が起きたとしたら、そこには必ず理由があるはずです。そんなとき『それは違う!』と頭ごなしに否定すると子どもは傷ついてしまいます。何があったのか。それをどう感じているのかを落ち着いて聴いてください。感覚の過敏な自閉症スペクトラムの子どもは、ちょっとした刺激で泣き出します。そんな時も落ち着くのを待ってから『どうしたの?』とやさしく聞いてあげてください。表現する言葉がわからないことも多いので、答えられなくてもスルーしてあげてください。」

■ やっていることを肯定する

「自閉症の子どもは、よく知っている場所、大好きなことには一生懸命、活動に取り組むことができ、専門家顔負けの知識をもっている子どももいます。そのような特性を肯定することが大切

です。何かうまくできたら、周囲のみんなと一緒に喜んであげましょう。自分が『できる』と感じられる行動を増やし、やり遂げることで自信を持ち、それが自立につながっていきます」

■子どもの魅力や子どもへの接し方を親に伝える

「『〇〇ちゃんは、面白い考え方をしますよ』『こういう風に教えれば言うこと聞いてくれますよ』『こんな風に接していくと、とてもかわいいところを見せてくれますね』などと、親に対して、子どもの魅力や子どもとのコミュニケーションのとりかたなどを伝えます。親の子どもに対する接し方が変わってくるかもしれません」

実際に発達障がいのある子どもを育てた親が、いま悩んでいる親の気持ちに寄り添い、具体的なアドバイスを行なう「ペアレント・トレーニング」などに参加すれば、同じ課題を抱える仲間との出会いがあるだけでなく、発達障がいの子どもの長期的な支援の上でも役に立ちます。当事者の取り組みを紹介するのもいいでしょう。

大人に何ができるのか?

早期発見、早期対処で困難を最小限に

子どもの発達障がいは、たいてい同年齢集団の中で目立ってきます。「発達障がいではないか」と思ったら早めに相談することをお勧めします。障がいがあるかどうかということよりも、子どもの発達の遅れや偏りに対して、必要な支援をできるだけ早期から始めることが、子どもの将来のためになるからです。

発達障がいの子には、大人に助けを得ながら成長できる環境が必要です。そうすれば、大人に対する信頼感を保ったまま成長することができます。

「学校でうまくいかないことを悩む親もいらっしゃいます。しかし、順応す

る力が身についていない子どもの頃、子ども同士が上手くいかないのは当たり前。それよりも、地域の活動などを通じて、発達障がいを理解する地域の人との信頼関係をつくった方が、将来、大人になったとき、スムーズに社会へ出ていけると私は考えています」

福祉専門職・従事者は基本的な支援の力をつけること

福祉専門職や関係者が発達障がいの子どもに対する基本的な支援の力をつけることは、発達障がいの子どもだけでなく、多くの子どもたちへの適切な関わりが可能になります。当たり前の保育・発達支援ができるために、勉強をしていくことはとても大切です。例えば保育士の場合、子どもにとって次の成長段階、すなわち、学校教育あたりまでのビジョンを持って支援を行なうことが理想的です。

多数派の強引さが発達障がいのある人を傷つけている

最後に発達障がいのある人を支援する心がけについて石川さんにお聞きしました。

「私たちは『自分が考えていることは、相手もきっとそう考えている』ということを前提に生きてています。しかし、同じものを見ても感じ方が違う人がいます。それぞれの個性は活かされるべきですが、実際には、多数派の価値観が強引に少数派の人たちに押しつけられています。その現実をまずは自覚することがとても大切です」

発達障がいの人が生きやすいように、福祉援助職をはじめとする私たちが関わることによって、その人の取り組まく環境を変えていくことができれば、発達障がいは「障がい」ではなくなり、本当の意味で「個性」になるのではないかでしょうか。

参考資料等

- NPO法人 アスペ・エルデの会HP(発達障害とは) <http://www.as-japan.jp/j/file/shiryo/about.html>
- 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所HP http://www.nise.go.jp/portal/elearn/ld_rikai.html
- 厚生労働省HP(発達障害理解のために) <http://www.mhlw.go.jp/seisaku/17.html>
- 発達障害情報・支援センターHP <http://www.rehab.go.jp/ddis/>

コラム

パニックにおちいる子どもがいたら

まず子どもの興奮を下げ、落ち着かせます。そして、状況を原因から順序だてて把握し、迅速に対応します。

情報入力ができない状態

- 刺激を少なくする
- 言葉による指導はしない
- パニックが終了してからの働きかけ

情動(気分、感情、欲望などの)の安定を図る

- 気分転換の具体的な方法
- 生理的な調整
- 感情のコントロール

二次的事故を防ぐ

- 回避場所をつくる
- クラスメートから隔離する

大阪市発達障がい者支援センターの紹介

大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」は、大阪市からの委託を受け、平成18年1月に開設しました。当センターは、国の「発達障害者支援センター事業」に基づき、発達障がいのある本人と家族が安心して地域で暮らしていくように様々な支援を行っています。

【主な支援内容】

- | | |
|---------|----------|
| 1. 相談支援 | 3. 就労支援 |
| 2. 療育支援 | 4. 啓発・研修 |

利用できる人は、大阪市在住で自閉症(高機能自閉症を含む)、アスペルガー症候群、LD(学習障がい)、ADHD(注意欠陥・多動性障がい)等の発達障がいのある本人や家族、及び支援者や関係機関関係者です。

【問合わせ先】

大阪市発達障がい者支援センター(運営:社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会) 〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55 大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター2F
TEL:06-6797-6931
<http://www16.ocn.ne.jp/~hattatsu/index.htm>
E-mail:hattatsu-shien@feel.ocn.ne.jp

講座案内

大阪市内の社会福祉関係施設・機関・事業所に勤務する

①第1回健康管理講習会

福祉の現場のための癒しのボディワーク
～からだを整えて、こころを癒しましょう～

人が何かをする時には、こことからだを緊張させることができますが、ついついそれを持ち越してコリや痛みに変えてため込んでしまいます。今回の講習では、ストレスの有無や自分の性格・行動の傾向を知り、実際にからだを動かして肩こりや腰痛、その他の緊張と向かいあって、それを緩和する技法を学びます。

- 日 時…平成25年6月14日(金)
午後1時30分～5時
- 講 師…中尾みどり(金剛こころの健康研究所 所長)
- 場 所…大阪市社会福祉研修・情報センター
- 定 員…50人(先着順)
- 参 加 費…1,000円
- 申込方法…下記の「申込記載事項」を記入のうえ、ファックス・ホームページからお申し込みください
- そ の 他…受講決定者には、受講通知をお送りします

前回の受講者アンケートより

- 体の持っている力を使って運動をしただけで、体がとても楽になり、心も本当に楽になりました。
- 体の動かし方を意識することで、心の持ち方も変わるという事がわかり、非常に納得しました。

大阪市内の社会福祉関係施設・機関・事業所に勤務する

②福祉職員のメンタルヘルス研修 (一般職員向け) 「ストレスマネジメントを学ぶ」

対人援助福祉職は、ストレスを抱えやすい職種だといわれています。業務過多な肉体労働、知的労働に加え、被援助者に対して自身の気持ちを抑えケアするといった「感情労働」の要素が大きく、対人援助福祉職に特異的な要因が複雑に絡み合い、心身の疲弊を強めたり、こころの健康を崩し、休職や離職に至るケースもあります。

ストレスはストレスの原因となる「ストレッサー」とストレッサーにさらされることによって引き起こされる「ストレス反応」からなり、援助者がストレスに適切に対処するために、セルフケアをはじめとするメンタルヘルスの知識を身につけておく必要があります。本研修では、「ストレスのしくみ」を理解し、対人援助者のモチベーション低下や燃え尽きを予防し、メンタル不全に陥らないためのスキルを身につけことを目的として開催します。

●日 時…平成25年7月26日(金)

午後1時～4時

●講 師…畠 理恵(臨床心理士、大阪市社会福祉研修・情報センターメンタルヘルス相談員)

●場 所…大阪市社会福祉研修・情報センター

●定 員…80人(先着順)

●参 加 費…1,000円

●締 切 日…平成25年6月24日(月)

●申込方法…当センターホームページ(<http://www.wel-osaka.jp/>)の申込フォームに入力するか、申込用紙をダウンロードしてファックスでお申し込みください

●そ の 他…受講決定者には、6月末に事業所あて郵送でご連絡します。

前回の受講者アンケートより

- 利用者のお役に立ちたいと思う一方、メンタルの部分をいつも健康に保てるよう気をつけて心がけていたいので、良いアドバイスをいただきました。

福祉職員のメンタルヘルス研修 ～今後の予定～

◆中堅職員・リーダー対象研修

●日 時：10月1日(火)・10日(木)
午前10時～午後4時30分
※2日間連続講座

◆管理職対象研修

●日 時：平成26年1月27日(月)
午後1時～4時

◆上記講座の申込・問合せ先

①②大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 ☎06-4392-8272 <http://www.wel-osaka.jp>

申込記載事項

【必須項目】①研修(講演会)名、②名前(ふりがな)、③年齢、④連絡先住所(〒)、⑤電話、ファックス番号、⑥勤務先(所属)

※必須項目以外にも、必要な項目がある場合がありますので、忘れず記載ください

大阪市社会福祉研修・情報センター介護実習室利用のご案内

大阪市内で充実した設備の介護実習室を貸し出している施設があるのをご存じですか?



社会福祉研修・情報センターでは、社会福祉に関する研修・実習などで、ご使用いただけるお部屋を多数完備しております。特に介護実習室は広さ60m²のフロアと40m²の畳敷のお部屋、併設66 m²の浴室部屋など、大阪府下随一の設備を備えています。その他、講習のための付属設備、音響設備などもご用意しております。

是非、この機会に介護実習室をご利用ください!!



◆介護実習室では、高性能の介護ベッドを4台ご用意しております。ベッドメーカーはフランスベッド、パラマウントベッド、松下電工、プラッソ4社のベッドがございまので、現場での多様なシチュエーションを実習体験して頂けます。



◆さらに隣のお部屋に介護用浴槽を4槽完備しております。浴槽間の広さも十分の間取りで設計された空間ですので複数人での同時実習をご計画のカリキュラムにも、対応して頂けます。その他車椅子や付属の設備などもお使い頂けます。(ベッド、車椅子等の設備は無料)

室 名	定 員	午前(9:30～12:30)	午後(13:00～17:00)	夜間(18:00～21:00)	昼夜間(9:30～21:00)
介護実習室	36人	5,700円	7,600円	5,700円	17,100円

貸室に関する詳しいご案内や申請方法などは、当センターホームページの貸室案内をご覧ください。
社会福祉研修・情報センターへの電話やファックスでのお問い合わせも隨時受け付けております。

あなたの“学びたい”“知りたい”を 「ウェルふるネット」が応援!

大阪市福祉人材養成連絡協議会のホームページ

<http://www.welful.net/>

The screenshot shows the homepage of the Welful Net website. It features a colorful header with a tree and flowers. On the left is a sidebar with links like 'メニュー', '新着情報', '研修・講座', '報告書・資料', '協議会概要', '会員構成', and '個人情報の取り扱い'. The main content area has sections for '新着情報' (with a red box around it) and '研修・講座・イベント情報' (also with a red box). There are also links for '報告書・資料' and 'ウェルマガジン'.

社会福祉に関する研修・
イベント・報告書などの
情報満載! ウェルふるネット 検索

▶ 新しい情報が更新されれば
“新着情報”で随時お知らせ

▶ “研修・講座・イベント情報”では
目的にあった情報を検索することが
可能

This screenshot shows the search interface for training, lectures, and events. It includes fields for 'キーワード', '対象者', '主催者', and '対象年月'. Below the search results, there's a table with columns for '開催地・会場' and '開催日'.

毎月1回メールマガジンを配信。
最新の情報があなたの元に届きます

メールマガジンの登録はこちらから

パソコンへの配信希望者は、ホームページ上の申し込みフォームから申し込みください。



メールマガジンのご紹介

ウェルふるネットメールマガジン「Informationマーケット」

福祉に関する研修の情報を月1回お届けします。
ご購読は登録フォームからメールアドレスをご登録ください。
購読料は無料です。通信費は各自のご負担となります。

バックナンバーは[こちら](#)からご覧いただけます。
※平成22年12月までのバックナンバーは[こちら](#)から

発行間隔

月1回

メールマガジンの登録

パソコンへのメールマガジン配信は[こちら](#)

メールアドレスを入力してください [登録](#)

●携帯電話への配信も可能ですので
次の手順でお申し込みください。

- ①携帯電話の受信制限をかけている方は、メールマガジンの配信元メールアドレス「jinzai@shakyo-osaka.jp」を受信できるように設定操作してください。
- ②右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
- ③登録完了メールが届きます。

※購読料は無料です。
通信費は各自の負担となります。



福祉の歴史散歩

大阪の福祉の源流をたどる



なにわの福祉を支えた実業家たち(利益を社会に)① —近代産業パイオニア達のもう一つの顔—

本稿は三話完結の第一話です。

小河滋次郎(民生委員制度の創設者)は、明治の終わりに初めて大阪を訪れ、なにわ福祉の特徴の一つとして、「大阪の富豪間に救済趣味が普及していること」をあげています。

当時、大阪で福祉活動を実施した著名な実業家としては、まず本山彦一と大原孫三郎が想起されますが、このほかにも、福祉事業に理解を示し、援助を惜しまなかった人たちが少なくありません。実業面では“創業の鬼”として奮闘しながら、よく見ると、“惻隱の情”(仁愛の心)の宿る、もう一つの貌を持っていたことが窺えます。

ここでは、明治・大正期の大阪において、福祉の面でも活動した実業家たちの、そんな顔を垣間見たいと思います。

〔本山彦一と毎日新聞慈善団〕

毎日新聞の基礎を築き上げた本山彦一(1853~1932)は、明治末期に「大阪毎日新聞慈善団」を創設しました。

本山彦一は、嘉永6年、熊本に生まれています。細川藩足軽であった父を幼時に亡くしましたが、母の尽力により藩校で学び、成績優秀のため、より進学の道が与えられました(福沢諭吉も学費を援助したといいます)。

明治期における関西財界の重鎮であった藤田傳三郎にも才能を認められて「藤田組」に入社、さらに、孫娘(きく子)と結婚しました。

そして、明治21(1888)年、藤田に起用されて毎日新聞社長に就任するや、原敬を編集長に採用し、①読みやすいこと、②ニュースは迅速であること、③企画は売れるものを優先すること、④利益は公共事業に充てること、を編集方針として、毎日新聞社を大いに発展させました。(因みに、彼のライバルは朝日新聞の村山龍平でした。)

本山は、「利益は公共事業に」の方針を貫くため、明治43(1910)年、「大阪毎日新聞慈善団」を創設。基本金(15,000円)は

配当準備金より寄付しました。

事業として、「(一)他の慈善団体の事業援助(慈恵院、慈善病院、孤児院、養老院等) (二)罹災者救済 (三)薄幸者救じゆつ (四)貧民診療 ①他団体への金品寄贈、②罹災者義捐金募集、被災者への金品支給、救護団による直接救援、③鰥寡孤独・貧困者等への金品施与など、④「施療救療班」を編成して、細民部落を巡回し施薬施療」を掲げました。財源は、基本金利子、毎日新聞社寄付金(配当準備金より毎年支出)と、新聞購読者・広告主・その他からの寄付金でした。

なかでも、「貧民施療」(巡回病院)は、二・三ヶ月ごとに「貧民部落を転々巡回し」、寺院等の境内に病院を仮設して貧困者に施療したもの。スタッフは、医師・助手・看護婦・薬剤師で構成され、医療機器・包帯材料・什器などはパックして輸送しました。

この慈善団は、いまの「毎日新聞社会事業団」で、ほかにも広範な活動を次々に展開していますが、ここでは割愛します。

〔大原孫三郎と 石井記念愛染園・大原社会問題研究所〕

倉敷紡績(クラボウ)社長であった大原孫三郎(1880~1943)は、石井十次を通じて大阪の福祉にかかわり、さらには日本の福祉に大きく貢献しました。

大原孫三郎は、明治13年、備中國倉敷村(岡山県倉敷市)の生まれ。父(幸四郎)は大地主で、「倉敷紡績所」を設立。良質・廉価をモットーに、大いに利潤を上げました。

孫三郎は、次男でしたが、兄が夭折したため溺愛され、どちら息子に成長しています。藩校(閑谷学校)に入りながら、「宿舎の飯が不味い」といって中退。東京専門学校(早稲田大学)に進んでも、悪友に取り巻かれて遊里に出没し、借金の山を抱えて、これまた中退するという放蕩ぶりでした。

しかし、石井十次(岡山孤児院院長)の講

演を聞いたことなどが動機となり、人生觀を一変させ、「我が家の資産は私のものではない。世のために与えられたものだ」と考えるようになりました。

さて、明治39年(1906)年、労働争議が原因で辞任した父の後を継いで社長になると、従業員の待遇や福利厚生の充実を図るとともに、経営手腕を発揮して、全国十数ヶ所の工場を建設するなど、屈指の大紡績会社に発展させました。

一方で、大原は、石井十次に兄事しており、その事業(岡山孤児院)を支援し、石井が明治35(1902)年に大阪に進出し、次いで大阪分院(愛染橋夜学校・保育所・日本橋同情館)を開設するにあたっても協力を惜しまず、さらに、石井の死後は、その事業を引き継ぎ、大正5(1916)年には大阪分院を「石井記念愛染園」と改称(翌年、財團法人認可)して、自ら理事長に就任しています(経営は主事=富田象吉に一任)。

そればかりでなく、大正8(1919)年に大原社会問題研究所、昭和5(1930)年に愛染橋病院を設立するなど、事業を展開させました。

なかでも、大原社会問題研究所(天王寺区伶人町)は、世界で三指に入る異色の学問所と評価されました。大原は、土地・建物・書籍・経営費の一切を私費で支弁しながら、運営には口を出さず、役員にも名を連ねませんでした。こうした大原の自主と自由を尊重した方針によって、後世に残る『日本労働年鑑』はじめ多くの資料・研究各誌が発行され、森戸辰男・大内兵衛・権田保之助ら斯界の優れた学者がこの研究所から巣立ちました。

なお、大原の遺志は、子の大原總一郎、その妻=眞佐子によって引き継がれました。

大原社会問題研究所はのちに大阪府(社会事業会館)に譲渡されましたが、石井記念愛染園や愛染橋病院などは、今日でも輝かしい活動を続けています。

※この稿は、大阪市社会福祉研修・情報センターで開催された「社会福祉史の市民講座」の講演[講師：西野孝 花園大学名誉教授]から抜粋したものです。
(言葉については、歴史的事実として当時の表現をそのまま使用しています)



図書紹介

『地域のネットワークづくりの方法 地域包括ケアの具体的な展開』

白澤 政和 著
中央法規出版 2013年

地域ケア会議、代表者会議、地域支援計画、実際事例。地域包括ケアとの関係を含め地域のネットワークづくりについての基本的な考え方とその具体的な方法について説明している。



『ペコロスの母に会いに行く』

岡野 雄一 著
西日本新聞社 2012年

40歳で故郷にUターンした漫画家が、親の老いを見つめた、笑えて、温かくて、どこか切ない家族の物語。主人公は認知症と診断され施設に暮らす母。その母の「人生の重荷を下ろしたとびつきりの笑顔」や、著者のはげた頭を見て名前を思い出すエピソードなどを4コマ漫画で描かれている。



『誰も気づかなかった介護の真実』

プロスペクトガーデンひたちなか 編
講談社 2012年

全職員フルタイム(8時間)・利用者擬似体験プログラムでわかった、介護される側の気持ち。「類似体験の個人レポート」「類似体験を経て、何が、どう変わったか」など



図書・資料閲覧室からのお知らせ



新たに認知症の雑誌が加わりました。

「認知症ケア最前線」隔月(偶数月)発行 QOLサービス

現場職員向けの特集が2つと経営者向けの特集1つ、他に認知症の方への介護や医療についての知識を深める連載や、全国の小規模多機能の取り組み、脳トレ素材集、レクリエーションのネタなども紹介されています。
※センター所蔵の認知症の専門誌は、他に季刊誌の「認知症ケア」(日研出版発行)もあります。ぜひご利用ください。

大阪市社会福祉研修・情報センター2階の図書・資料閲覧室では、福祉に関する図書・DVD・ビデオなどを、無料で貸出しております。(認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係の雑誌などが充実しています。)

開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時

休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始

☎06-4392-8233

DVD紹介

『あしたをつかめ 平成若者仕事図鑑 ケアマネジャー』

NHKエンタープライズ 24分 2011年

介護が必要なお年寄りの介護プランを考えるケアマネジャーになって2年目の男性が、お年寄りの夢や希望をしっかり聞いて、それをかなえようと、地域を走り回る姿を追う。



『はながゆく。』

石神紀念医学研究所 105分 2010年

脳性マヒ、身体障がいなど複数の困難と闘う赤坂はなさん。現在、友人・知人に囲まれて生活をしている。そんな彼女は就職活動中。働くことにこだわり、仕事を求めてチャレンジを続ける、はなさんの21歳の夏を記録。



『新任、横山君の初めての虐待対応』

NPOシルバー総合研究所 25分 2009年

新任の市町村高齢者虐待担当者 横山君が、虐待ケースを対応していく再現ドラマ。行政の担当職員の高齢者虐待に対する対応と、委託の地域包括支援センターとの連携の例を描いている。





●からだの健康は歯と歯ぐきから

歯を失う主な原因はむし歯と歯周病です。特に歯周病は、痛みなどの自覚症状がほとんどありません。さらに歯周病の原因菌は全身のさまざまな病気に関わっていることがわかっており、歯周病で歯を失うとからだ全体に大きな影響が及ぼします。

歯周病とからだの病気 ~全身のさまざまなところに影響を及ぼします~

- 糖尿病 ●肺炎 ●狭心症や心筋梗塞 ●心内膜炎 ●肥満 ●骨粗しょう症
- 胎児の低体重、早産 など

特に高齢になると嚥下(飲みこみ)や咳反射が弱まりむせやすくなるため、唾液と共に口の中の細菌が気管内に流入しやすくなり、これが原因で肺炎を引き起こすことがあります(誤嚥性肺炎)。口の中を清潔に保ち、丁寧に歯磨きする事で、肺炎が減少することがわかっています。口の状態を知るために定期的に検診を受けましょう。

大阪市で受けることができる歯科の検診や相談

●歯周疾患検診(問診・口腔内診査)

- *対象*
40・45・50・55・60・65・70歳
(昭和18・23・28・33・38・43・48年生まれ)の方
- *費用* 500円(生活保護世帯・市民税非課税世帯の方は無料)
- *実施場所*
市内取扱歯科医療機関

●歯科健康相談(個別相談)

- *対象* 大阪市民
- *費用* 無料
- *実施場所* 各区役所(保健福祉センター)

お問い合わせ/大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9969・9961

●野菜をたべよう!~1日5皿をめざしましょう~



なぜ5皿なの?

1日の野菜摂取目標量は350g以上です。しかし野菜350gといつてもなかなか実感しにくいものです。野菜料理小鉢1皿で約70gになりますので、1日に5皿分食べると目標量の350gに達します。

※子ども(小学生高学年)は300gをめやすくしましょう。

野菜を1日5皿食べるには



6月は食育月間 每月19日は食育の日

お問い合わせ/大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9961

今月の自助具 滑り止めの付いた箸

資料提供 HUMAN universal design office 岡田英志さん

主な適応疾患・対象者▶●箸で食事をする時によく落とす方。

機能・特徴▶●ゆるんだ握り方でも、突出した節の部分が

親指にあたり箸が滑り落ちない。

●指があたる部分が扁平になっているので握りやすい。

●普通の箸と同じように手で操作して食事ができる。

使い方▶●箸を持つ時に親指に節の突

出した部分を引っ掛けた状態で持ち、普通の箸の使い方で使用する。



問合せ▶大肢協ボランティアグループ・自助具の部屋

☎06-6940-4189(月・水・金 10:00~15:00)

健康生活 応援グッズ

ポータブルトイレ

和室に合う
天然木(桐)トイレ



●家具調トイレ 桐匠(きりしょう)

和室にも違和感なく設置でき、軽くて持ち運びしやすいポータブルトイレ。木材の中で最も軽い桐を匠の技で強い構造に。便座や肘掛の高さ調節可能。抗菌加工ソフト便座。脱臭機能付。

国内初!
1台2役機能のトイレ



●タスカルHLチルト

電動で無段階高さ調節機能と、背もたれと座面の角度を保ったまま後に倒すことができるチルト機能付きのポータブルトイレ。便座の角度や高さ調節ができ立ち座りが楽にでき、体のズレも防ぎます。

使う方の状態や体格に
『アウカタチ』のトイレ



●アウーネ

コンパクトサイズなのに肘掛を湾曲にしてゆったりスペースを確保。座面高13段階・肘掛高5段階の調節機能。排泄に配慮した座面と肘掛を少し長く・握りやすくした、使いやすいポータブルトイレ。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター2階

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

✉http://kansil.jp

発行! 最新版「大阪における社会福祉の歴史Ⅳ」

大阪の社会福祉の歴史は、物事に柔軟に対応し、自由で現実的な姿勢で取り組み、全國に先駆けたものが多くあり、次代の大坂らしい実践に多くの示唆を与えてくれます。

2004(平成16)年から4年間にわたって、大阪社会福祉史研究会と大阪市社会福祉研修・情報センターが共催した「社会福祉史の市民講座」の内容を冊子にして発行しています。この度、「大阪における社会福祉の歴史Ⅳ」を発行しました。

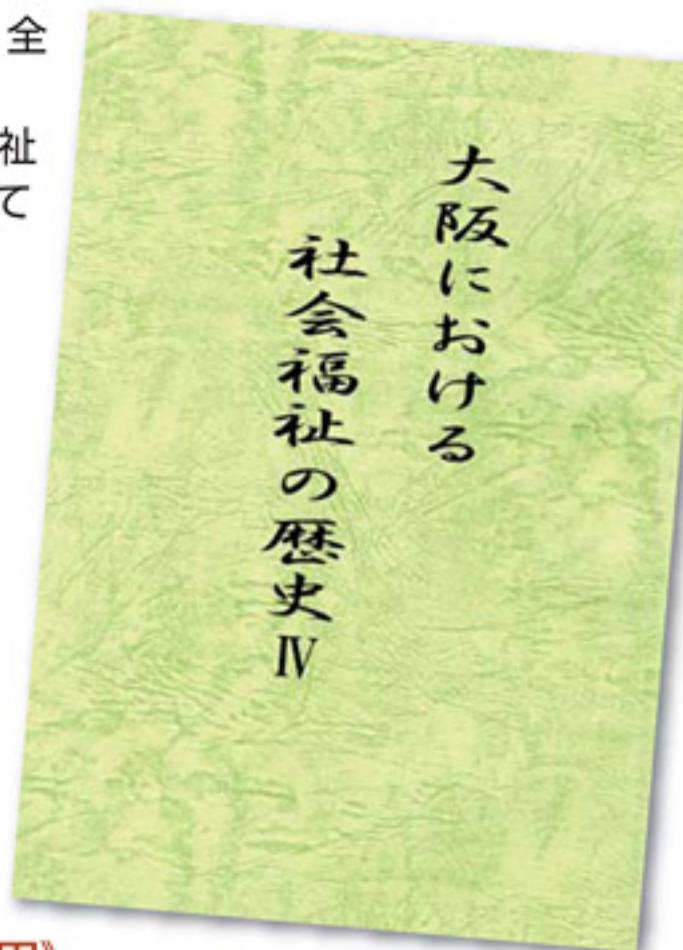
ぜひ、ご一読ください。

大阪の戦後混乱期の社会福祉事業

- 浮浪者(児)の心に響け、愛の鐘—梅田厚生館と五十嵐兼次
西野 孝(花園大学名誉教授)
- 大阪福祉事業財団の創設と展開
玉置 弘道(元 大阪福祉事業財団常務理事)

変貌する市民生活と社会福祉の発展—1960年代の大坂—

- 家庭養護促進協会のはじまりと発展
岩崎 美枝子(社団法人家庭養護促進協会理事)
- 大阪医療社会事業協会のはじまりと発展
大垣 芳美(元 医療ソーシャルワーカー)
- 「金ヶ崎」の不就学児童と地域
小柳 伸顕(金ヶ崎キリスト教協友会)
- 障がい児保育のはじまりと発展
松村 寛(社会福祉法人水仙福祉会理事長)
- 老人福祉法の制定と高齢者福祉の発展
岩田 克夫(社会福祉法人聖徳会会長)
- 大阪ボランティア協会のはじまり
早瀬 昇(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)



《販売価格 700円》

●申込方法: 大阪市社会福祉研修・情報センター1階事務室で購入できます。また、申込書(ホームページ <http://www.wel-osaka.jp> からダウンロード可)のファックス送信(06-4392-8272)でも受付ます
★この他にも、大阪市における社会福祉の歴史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・特別号も発行しています

あなたのお好みに仕上げます。

パンフレットやカタログなど、

作りたいものがカタチにならず困っていませんか?

当社が企画から納品にいたるまで、各専門スタッフが、

あなたのお好みに合わせて仕上げます。

デザイン、
制作のことなら
気軽に
ご連絡ください。



TOTAL CREATION
A·EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5F

TEL:(06)6362-1511(代) FAX:(06)6362-1510 E-mail:info@ad-emon.com

<http://www.ad-emon.com>

[広告]

大阪市社会福祉研究の バックナンバーを 無料配布しています

大阪市社会福祉研究は、社会福祉関係者の自発的研究発表の場として、投稿された論文や実践報告を掲載しています。



1980(昭和55)年の創刊号から2011(平成23)年34号(一部を除く)までを、大阪市社会福祉研修・情報センター1階ロビーにて、無料配付しています。数に限りがありますので、在庫がなくなった場合はご了承ください。

問合せ: 大阪市社会福祉研修・情報センター

TEL 06-4392-8201

■会議室等の使用料

(単位:円)

室区分 利用人員のめやす	時間区分	午 前		午 後		夜 間	昼 夜 間
		9:30~12:30	13:00~17:00	18:00~21:00	9:30~21:00		
4 階	会議室(1)	99	3,800	5,100	3,800	11,400	
	会議室(1) 東	45	1,900	2,600	1,900	5,800	
	会議室(1) 西	54	2,900	3,800	2,900	8,600	
	調理実習室	50	3,800	5,100	3,800	11,400	
	介護実習室	36	5,700	7,600	5,700	17,100	
5 階	大会議室	144	5,800	7,700	5,800	17,400	
	会議室(2)	60	2,900	3,800	2,900	8,600	
	講座室(1)	36	1,900	2,600	1,900	5,800	
	講座室(2)	36	1,900	2,600	1,900	5,800	
	演習室(1室利用)	18	1,000	1,300	1,000	3,000	

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)

ただし、展示ギャラリー、図書・資料閲覧室は午後5時まで

休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

●それぞれの開設日・時間

項目	直通電話番号	開設日(休館日を除く)	開設時間
会議室など利用の問い合わせ	06-4392-8200	毎 日	午前9時～午後9時(土・日午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問い合わせ	06-4392-8201		午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室	06-4392-8233	月～土曜日	午前9時30分～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

大阪市社会福祉研修・情報センターでは、貸室ご利用の皆様により計画的に便利にご利用いただくため、空室状況を公開し、FAXによる申込みを受付ています。

① 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「空室一覧」に、PDFで4カ月分掲載。

URL / <http://www.wel-osaka.jp/>

② 利用申込の受付は4カ月前からです。

利用日の4カ月前から、電話や直接窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎ 06-4392-8200

●FAXによる申し込み手続きの手順

FAXによる申込は、ホームページの「センターご案内」→「貸室利用のご案内」→「FAXでのお申し込み」に、申込手順を掲載しています。

☎ 06-4392-8206

※ファックスでの申し込み可能な期間は、利用日の4カ月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

交通／ご来所には【市バス】【地下鉄】【JR】をご利用ください

●市バス

「長橋二丁目」バス停すぐ

7系統(あべの橋～住吉川西)・
52系統(なんば～あべの橋)

●市営地下鉄・四つ橋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

●JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約9分



所 在 地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電 話 / ☎ 06-4392-8200(代表)

ファックス / ☎ 06-4392-8206

U R L / <http://www.wel-osaka.jp/>

人権啓発キャッチコピー

(テーマ)就職差別撤廃月刊

見たいのは、過去より未来、君に期待

渡井 由佳さん(平成24年度「人権啓発ポスター・デザイン・キャッチコピー募集」事業人権啓発キャッチコピーの部 優秀賞)の作品です。